

令和元年度第1回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 令和元年（2019年）6月14日（金） 午後3時30分～同5時30分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室4

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、中嶋委員、三谷委員、田野委員、
赤澤委員、磯部委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

福田室長、谷口課長、志村係長、濱崎職員、岡本職員

・事業者

議事① 事業者代理 株式会社ベネッセスタイルケア

設計者 株式会社IAO竹田設計

議事② 設計者 株式会社ヤマトコーポレーション（建築工事）

設計者 宮園測量設計事務所（造成工事）

(4) 議 事

議事① （仮称）宝塚市野上2丁目計画

議事② （仮称）宝塚南店 新築工事（ドラッグストア）

(5) 傍聴者

議事① なし

議事② なし

2. 会議の要旨

事務局： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開
となっています。本日の審議会（部会）は、委員6名の出席がありましたので、
宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、中嶋委
員と磯部委員です。

☆★☆☆ （仮称）宝塚市野上2丁目計画 ★☆☆☆

会 長： 今回の計画で景観上特に配慮されたことについて説明してください。

- 設計者： ・ 既存の有料老人ホームの建替え計画で、周辺は閑静な住宅地です。周辺の景観との調和については、以前の建物よりもモダンな印象を与えつつ、宝塚の古い歴史のある街並みに馴染むよう計画しました。また、従前から大きくボリュームが変わらない計画とし、街並みに馴染むよう計画しました。
- ・ 建築物は極力周辺住宅から離して配置し、隣地境界等には緑を配置することで圧迫感を軽減するよう配慮しました。また、前面道路から十分隔離をとって平面駐車場を配置し、道路境界部分には意匠壁や生垣等の植栽を設けて修景に配慮しました。
 - ・ 計画地の北側は保育園ですので、北側には植栽帯を豊富に配置し、園児に対して良好な視覚環境となるよう配慮しました。
 - ・ 緑地計画は、現在のイメージを残しつつ自然環境に馴染むよう豊かな緑を配置し、伐採する樹木もありますが新たに植樹し緑地環境に配慮しました。
 - ・ 建物外観意匠は、高級感があり周辺の街並みとも調和するよう計画し、外壁の仕上げはタイル貼りとし、落ち着いた印象となるよう配慮しました。また、バルコニーのデザインは、居室のエアコンの室外機が見えにくいような意匠としています。
 - ・ 北西の崖地部分は、従来の地形を変えることなく芝生により緑化を行います。また、キュービクルや受水槽などの大型の設備機器類は、道路から見えにくいよう敷地奥の崖側に配置しました。

会 長： 委員の方々、質問をお願いします。

委 員： 外観パースと配置図との関係を確認させてください。南東の道路の交差部分の角は、パースには生垣があり、配置図には生垣がありません。生垣はあるのですか、無いのですか。

設計者： 南東角は、意匠壁になりますので生垣はありません。南西の道路に面しては生垣があります。

委 員： パースと外構図面があっていないということですね。景観デザイン審議会では景観について協議する場なので、道路からどのように見えるのか、植栽がどうなっているのかが重要です。パースは建物を見せるためのものではなく、道路からどのように見えるかを重視して描かれたものが必要ですし、図

面が食い違っていては議論できません。

委員： 南西の植栽は、既設の生垣を残されますか、それとも新設ですか。

設計者： 南西の植栽は新設します。

委員： 常緑のヤマボウシの間に植えられる生垣の樹種は何ですか。

設計者： 高さ 2.5mのシラカシの生垣です。

委員： パースには駐車場の横に植栽が描かれていませんが、駐車横にもシラカシの生垣が連続しているという事ですか。南東道路側は意匠壁になるということですが、この壁とシラカシの生垣との取り合いはどうなるのですか。

設計者： 建物の外観を重要視したパースになっていますので、駐車場横の生垣は描かれていませんが、この部分にも生垣が続いており、南東道路に沿って意匠壁があります。

委員： どのような壁がどこまで設置されるのですか。南東道路にだけ壁があるのですか。

設計者： 南東道路に面して壁があり、南西道路側は角まで壁と同じ高さのシラカシの生垣になります。

委員： 生垣の足元のレンガタイルと意匠壁の関係はどのようになりますか。レンガタイルにコンクリートの壁が当たるのですか。

設計者： 南西生垣の足元はレンガタイルで、同様のレンガタイルの壁が南東道路に沿って建ちます。

委員： 南東道路側のレンガタイルの壁の高さはどのくらいですか。

設計者： 道路から駐車車両が見えないよう配慮したいと考えていますので、生垣と同じ 2.5m程度の予定です。高すぎて圧迫感があるようでしたら 2.0m程度にしたいと考えています。

会 長： 南東の道路側も生垣にすることはできませんか。

設計者： 検討はしていますが、スペース的に厳しい状況です。植えるスペースが取れる場合には生垣にしたいと考えています。

委 員： 是非生垣を植えていただきたいと思います。

会 長： 建物のデザインも大切ですが、景観について考える時には外構のデザインがとても重要になります。提出された資料では外構のデザインが描かれていないので、良いも悪いも議論しにくいのです。景観を検討する協議には外構や植栽を記載していただいた資料を作成願います。

設計者： 承知しました。提出したパースは建物外観デザインをメインに描いたものです。

委 員： 景観的には、外構に対してその背後に建物が如何に優しく隠されて見えているのかが重要です。実際には南東の道路側には生垣があるのにパースには描かれていないので、建物の威圧感が植栽で隠されているのに、それがこのパースでは伝わらないのが残念です。景観を議論する場合には外構をきっちり描くことが重要です。

設計者： 準備不足で申し訳ありませんでした。

委 員： 玄関部分の植栽についてですが、現況写真を見ると現況建物は正面にボリュームのある緑を配置し、塀は少し後ろに下がった位置に配置されています。塀の後ろにも緑が豊かに見えていて、更に建物付近にも緑が配置されている構成になっています。道路に面して豊かな緑が配置されていることで、この施設が地域に対して優しいイメージを与えていると思います。今回の計画もコンセプトでは緑量は維持しますと記載がありますが、玄関部分での緑量は減っているように思います。コンセプトと設計内容に相違があるように思いますが、緑量の維持というのは具体的にどの部分のことを示していますか。

設計者： 中庭の部分にも緑を豊富に配置していますので、デザイン説明書には緑量を維持していますと記載していましたが、お話を伺い、外から見た緑量をもっと意識するべきだということを感じているところです。

委員： 中庭に緑があることは良いことだとは思いますが、都市景観について協議させていただく時には、道路に面して豊富に植えられていた緑を今回は中庭で確保しましたという考え方は少し違うと思います。既存建物が周辺環境に馴染んでいるのは、緑を含めたファサードのデザインが一番大きいと思います。これらを踏襲するという意味では、生垣もその一つですが、宝塚らしい豊かな緑が街の中に街の住民と共有できる部分にあることが重要です。敷地内のどこでもいいから従前と同じ緑量を確保したので良いというものではありませんので、もう少しご検討いただきたいと思います。

委員： 先ほどから道路からの見え方について色々協議をさせていただいていますが、立面図には道路の位置も隣地の建物位置も記載がありません。例えば、道路に立って見た時、人の目線、約 1.5m の位置からは建物がどのように見えるのか、崖の上の宅地は、どのくらいのボリュームの建物がどの位置に建っていて、そこから見た時には計画建物はどのように見えるのか、というようなことはきちんと検討された計画なのでしょうか。隣地建物や道路との関係を図面に記載し、人の目線をラインで書き込めば、どの部分までどのように見えるのかはおのずと解ると思います。実際、崖の上の家からは屋上に設置された設備機器が丸見えになります。抽象的な話ではなく、具体的な検討が必要です。それをきちんと解って設計していただかないと景観の協議はできないと思います。この建物がどのように見えるのかということに重点を置き、周辺環境に馴染むためにはどのような配慮が必要になるのかを検討していただく必要があります。そのように検討した時、今の計画では色々と再検討が必要な箇所が出てくると思います。

設計者： 実際に崖の上から計画地を見ましたが、計画地の建物はほとんど視界に入りませんでした。崖の上に対して景観上どのような配慮が必要になるのですか。

委員： 隣接地からは見えないのかもしれませんが、少し離れた位置からは計画建物が見えると思います。隣接しているだけでなく、この建物が見える人に対して配慮が必要です。崖上からは、屋上のアスファルトルーフィングと設備機器が丸見えになりますが、屋上緑化の配置は、景観について検討された結果この位置に設置されましたか。また、道路境界線も記載されていない図面で、道路からどのように見えるかきちんと検討されたのですか。

設計者： 屋上緑化については、一部検討しています。

会 長： 屋上緑化は全面ではなく一部のみ配置されていますが、限られた部分しか緑化しないからこそ、どこに配置するかは重要になります。植える樹種にもよると思いますが、地被類なら崖に近い側に配置した方が景観上は効果があるように思います。

設計者： 崖上から見た時、遠くにあった方が緑が見えると考え、崖から離れた位置に配置しました。崖に近い方に配置した方が良いですか。

会 長： 設計者としては断面図などで確認したうえで、崖から離して配置されたということですね。十分検討された結果ということですね。

委 員： 屋上緑化は南東道路側に配置された場合、高い樹木を植えれば、道路からも見えますので景観上有効です。

事業者： 崖の上のお宅に入らせていただき、計画地を見た時に水平方向には何も見えず、視線が抜ける状態でしたので、崖に近い側に設備機器を配置し、道路側に緑化を配置した方が良いと考えました。

委 員： 屋上緑化は何を植えますか。道路から見上げても見える樹種であれば、低木以上のものを植える必要があります。地被類を植えられても、どこからも見えないので景観上は何の意味もありません。

設計者： 地被類を予定しています。

委 員： 地被類では道路からは見えないので景観を考えた時には効果はありません。道路側に1列だけでも低木を植えれば道路からも見えますので、景観上効果があります。

委 員： 断面図には道路の位置も、屋上の機械設備の高さも記載がありませんので、景観への配慮について何をどこまで検討していただいたのかわかりません。

委 員： そもそも屋上緑化は何の目的で設置されているのですか。

設計者： 一つの理由として附置義務がありますが、景観上の配慮も検討しました。崖上からの目線に配慮して、崖から離れた位置に配置しました。

委員： 景観に配慮するのであれば、屋上全面を緑化するべきです。

設計者： 設備機器も必要ですので、全面を緑化することはできません。

委員： それは解りますが、そのせめぎ合いの中でどこまで景観に配慮できるかということを検討する必要があります。

委員： 保育所側に設けられた緑地は、低木を混植され、自然な感じで良いと思います。遠くに見える緑ではなく近くに見えますのでディテールまで関係してきます。できるだけ単調になるのを避けた方が良いと思います。高木はシラカシ、ノムラモミジなど公園などで一般的に良く植えられている樹種です。少し単調に感じますし、多様性が感じられません。落ち葉を考慮して常緑樹を選定されたかと思いますが、樹形を変えるとか、3、4種類の樹種を混ぜることで自然な森の感じになりますので検討してください。北側の斜面部分は芝生張りですが、この勾配では水みちができて剥がれます。また、メンテナンスが大変で、単調な景観になると思います。居室から見える部分ですし、できれば低木を混植していただくとノーメンテナンスで自然な感じになり、良いと思います。

設計者： 斜面は急傾斜地崩壊危険区域に指定されていて、兵庫県が管理しています。擁壁の安全性も含め兵庫県が管理している部分ですので、極力触らないよう指導を受けています。また、植栽等の手入れも現状は兵庫県がされています。

委員： わかりました。

委員： 南西道路沿いはシラカシの生垣ですが、延長が長いのでシラカシだけでは単調になります。生垣も数種類の樹種を混ぜることで自然な感じになります。パースではレッドロビンの生垣が描かれていますが、真っ赤になるので避けた方が良いでしょう。レッドロビンを植える場合は少し混ぜる程度とし、できるだけ自然な景観になるよう配慮願います。また、パースには常緑のヤマボウシが描かれていないのが残念です。生垣の間にヤマボウシを植えられているので、元々の景観よりもグレードが上がっています。せつかくなので、こういう部分はきちんとパースにも反映させた方が良いでしょう。

委員： 建物は水平ラインを強調したデザインですので、前に植える植栽は尖った

ものよりも自然な感じに仕上げるのが良いと思います。南東道路側の角の部分は、壁ではなく生垣にできるよう検討してください。中央の植栽のサルズベリは少し小さいですし下枝が多く出てきますので、車路に面する部分にはあまり向かないと思います。落葉で花の咲くコブシは、街にも表情が出ますし、冬は枝、春は花と葉で季節感が出て良いと思います。2本だけで良いのでコブシを植え、それを大きく育てると通行上もメンテナンス上も景観上も良くなると思います。屋上緑化は崖から見えないのであれば道路側に配置された方が良いと思います。ただし、道路側に植えるのであれば、少し背の高いものを植えることを検討してください。屋上に緑が見えることで建物のイメージもグッと良くなりますし、景観上も良くなります。是非検討願います。ただし、背の高いものを植えると転倒や飛んでいくような危険性も出てきますので、安全上の配慮をきちんと行った上で検討していただきたいと思います。

設計者： コスト面も考慮しながら、検討したいと思います。

委員： 屋上緑化ではコスト面を考慮するのであれば、地被類を植えるよりも低層の草類を植える方が良いと思います。花壇ではないので草花の種が飛んできで自然と生えるよう施工をしておくとなーメンテで良いと思います、むしろ地被類を植えた方が水やりが必要ですしメンテナンスが大変になります。

委員： 中庭の面積に対して東屋のサイズが少し大きすぎるように思います。日本人、特にご老人は狭い空間の中央に東屋があっても遠慮して座られないように思います。また、この中庭の面積で東屋を造ると、他に座るスペースがあまり取れません。むしろ、この部分に落葉樹を植えると夏は影になります。今の計画よりも多めにベンチを設置し、どの日射角でもどこかのベンチはかならず陰になるよう計画された方が利用しやすいと思います。

設計者： まとまった面積の広い中庭が取れていますので、きちんと場所づくりを検討し、くつろげる計画としたいと思います。

委員： 中庭は、生垣の後ろに高さ4m程の木を何本か植えられると、外部からも見えますので、景観上良くなると思います。

委員： この計画で一番重要なのは玄関前の前庭の部分です。駐車場はピンコロ仕上げですが、駐車区画は何で表示されるのですか。

設計者： 同じピンコロの色彩の異なるもので駐車区画を表示します。

委員： ピンコロ仕上げの駐車場自体は景観上目に付くようなものではないと思います。南東道路に沿って高さ 2m の壁で駐車場を隠す方が圧迫感と違和感があります。この南東道路の角は、壁ではなく南西からの生垣を連続して設置するよう検討してください。また、アプローチと緑地の間のスペースはどのように利用されるスペースですか。

設計者： 車が底下の車寄せを通り、敷地外へ出ていくためのロータリーです。できるだけゆったりと通路を確保したいのですが、あまりスペースに余裕がないため、道路沿いに生垣を設置できるか検討しているところです。

事業者： ロータリーの通路も必要ですが、消防用の活動空地を確保する必要があり、あまり余裕がありません。

委員： 消防用活動空地の件は承知しています。道路際には生垣を配置して欲しいので、アプローチを工夫すれば生垣を配置できるかと思いましたが、車が通るとなると確かにあまり余裕がないですね。

設計者： 建物の用途上どうしても玄関前まで車を乗り付けるスペースが必要です。

会長： 南西道路沿いの生垣の高さを 2.5m としているのは、近隣からの要望ですか。

設計者： 近隣から現状と同じ高さの生垣を配置して欲しいと要望が出ています。

会長： 本日は色彩専門の委員が欠席しております、事前に色彩、外観に関する意見をいただいておりますのでお伝えします。

- 図面集 11 頁の凡例より
- ・ 記号 A に当たる外壁は、建物上階の外壁の大半にあたり、面積も大きいです。そのため、色彩の面積効果等により、町並みから見ると指定された色彩よりも白くまぶしい印象をもたらします。計画ではマンセル 2.5Y8.5/2 というのですが、明度 8.5 を少しおさえて、明度 7.5～8 が望ましいと考えます。

面積が大きいので、本日持参されたサンプルよりも実際にはもっと白く見

えると思いますので、明度を押えて欲しいという意見です。

設計者： 実物は斑のあるタイルですが、実際に見られても白いと感じられますか。

委員： これが太陽に照らされると、だいぶ白く眩しく感じると思います。

会長： 選定されている色彩は、基準値内ではありますが、面積が大きいので、少し明度を下げるよう検討をお願いします。

委員： 庇とバルコニーの出が大きいので、道路を歩いていると軒裏がかなり目に付くと思います。庇先端と軒裏は 2.5Y9/1 で外壁のタイルより白く明るい色彩で、白すぎるように思います。軒裏は影になるのでそれ程白く見えないないかもしれませんが、庇の厚みがかかなり厚いデザインですので、明るく見えすぎるように思います。庇先端の色彩はもう少し明るさを抑えるよう再検討願います。外壁はタイル、庇先端と軒裏は吹付ですので、明度を外壁と同じ 8.5 としても、吹付の方が明るく見えますので、わざわざ吹付部分を外壁よりも明るくする必要はないと思います。

委員： 道路境界に近い部分の軒裏や、玄関部分の軒裏は目に付く部分です。ベタツとした吹付ではなく、建物全体のデザインと調和するようなテクスチャーのある吹付とにされると質感が高く見え、良いと思います。また、空調の室外機はどのように設置されますか。

設計者： 配管は壁面の中を通して下部から抜きます。

委員： 配管は外部には見えず、室外機だけがバルコニーに設置されるということですね。

設計者： そうです。

委員： 建物正面のデザインは、特注のロートアイアンの手摺りを設置し、こだわったデザインですので、手摺りの奥に室外機が見えるのは残念に思います。何か工夫していただくと更に良くなると思います。

会長： 色彩専門の委員から、もう一つご意見がございます。

- ・ 記号 E に当たる外壁（開口部の上部）は、凡例に示された E 以外の外壁

色等とのコントラストがかなり強いです。また、パースでは窓が暗く仕上げられています。共用すれば窓はカーテンがかけられ白っぽく見えると思われま。Eはアクセントカラーとしては、面積が大きいと思われま。計画ではN3.5ということですが、N4.5～5.5が望ましいと考えま。

設計者： 検討しま。

会 長： 色々な意見が出ましたが、既存の建物が周囲環境に馴染んだ建物ですので、計画建物も本日協議させていただいた意見を取り入れ、現状と同等、或いはそれ以上に良い景観になるようご検討いただきたいと思いま。議事 1 については、これで協議を終了しま。

☆☆☆★ （仮称）宝塚南店 新築工事（ドラッグストア） ★☆☆☆

会 長： 今回の計画で景観上特に配慮されたことについて説明してください。

- 設計者：
- ・ 現況敷地は資材置き場、駐車場、一部住宅の敷地として利用されています。道路に面して駐車場、敷地奥に店舗を配置し、その周囲を緑地として整備しま。
 - ・ 敷地全体を県道のレベルまで 4m程盛土して地盤面を上げ、ドラッグストアを建てま。
 - ・ 駐車場、緑地、建物をバランスよく配置しました。
 - ・ 外観は白色のサイディングで、外壁上部にはグリーンラインを入れ、アクセントを加えることにより無機質なイメージを回避しました。
 - ・ 前面道路面に沿って中木のシラカシを 14 本植えることにより、道路から見た時に立体的に見えるよう配慮しました。

会 長： 建物西側の壁面緑化は、どのように施工し、何を植えますか。また、どのくらいの高さまで植える計画ですか。

設計者： 壁面緑化を施工する高さは 4.0m、幅は 55.0mです。建物の軒下まで既製品のアルミのメッシュ状の資材を使用し、ヘデラを植えて緑化する計画です。

会 長： 壁面緑化は規定の緑量を確保するために設置されるのですか、或いは隣地の住民からの要望により設置されるのですか。また、緑化計画も含め近隣住民との協議は終わっているのですか。

設計者： 境界に沿って擁壁を施工し、敷地全体を盛土する計画のため、元々は隣地の方々への配慮として壁面緑化を計画しましたが、規定の緑量が平面の植栽だけでは足りないので、不足分を壁面緑化で確保することにしました。また、近隣住民との協議は継続中です。

会 長： 擁壁を境界から後退して施工されるので、擁壁下にメンテナンススペースも十分確保されています。建物の壁面を緑化するよりも擁壁を緑化する方が景観的な効果が大きいように思います。建物壁面を緑化される計画としているのは、例えば、近隣住民からあまり近くに緑を植えないで欲しいというような要望があったからですか。

設計者： 隣地境界線から擁壁を 1.0m セットバックして施工する計画ですが、擁壁と隣地境界線の間を人が行き来するのは避けて欲しいとの要望がありました。また、落ち葉も気になるので、あまり近くに緑を植えないで欲しいとの要望もあり、擁壁の下部に植栽し擁壁を緑化する計画ではなく、建物の壁面を緑化する計画としました。

委 員： 敷地境界にはフェンスなどは設置されないのですか。

設計者： 敷地境界線には既存のコンクリートブロックが 3 段から 5 段ほどあり、そのまま使用します。また、新設する擁壁の上部にはフェンスを設置します。

委 員： 建物の壁面を緑化した場合にも落ち葉は落ちるので、落ち葉の問題はどちらに植えても同じだと思います。擁壁を緑化する場合には、擁壁表面を粗仕上げとし、吸着するタイプの植物、ヒメイタビやオオイタビ、キヅタなど、葉の大きい樹種も加えながら植えると木のように見えて綺麗に緑化できて景観上有効ですし、メンテナンスもあまり必要ありません。

設計者： 擁壁の下まで降りてメンテナンスするには、敷地からは直接降りることができないので、県道側からぐるっと回って降り、更に一部他人の土地を通らなければならないので、メンテナンスを考慮すると擁壁の上部で水やりなどができるように、建物壁面を緑化する計画としたいです。

委員： 建物壁面を緑化する場合には、50cm程度の間隔で植栽し、水や肥料をしっかりやらないと育ちません。きちんとメンテナンスができないと枯れて、返って汚く見えてしまいますので、水やりなどのメンテナンスは必須です。また、壁面全面をベタッと緑化するのではなく、緑化する部分をいくつかに分けると壁面に表情が出て、景観上も綺麗に見えますので工夫してください。更に、擁壁については、水抜き穴からの排水跡が広がり汚く見えますので、水抜き穴の位置に合わせてスリットを設置すると、その他の壁面が汚れないので擁壁が綺麗なまま保てます。4mもの高さの擁壁ですので、水抜き穴やスリットの設置について十分検討し、きちんと割り付け図を作成して、景観上綺麗に見えるよう良く検討してください。

設計者： 検討します。

委員： 既製品のメッシュ状の壁面緑化用の資材を使われると説明がありましたが、ヘデラは巻きつくタイプの植物ではありませんので、上手く育たないので緑化できないと思います。テイカカズラ、ナツヅタ、キヅタなど、細かい葉の樹種に少しだけ大きな葉の樹種を混植すると自然な感じに見えますので数種類を混植することをお勧めします。

委員： 規定の緑量を確保するためには、壁面緑化はどの程度必要ですか。

設計者： 壁面緑化は最低 170 m²以上必要です。

委員： レッドロビンを 822 本植栽する計画は、メンテナンススペースもなく管理できませんので再検討してください。植栽帯の外周部にレッドロビンを生垣状に配置し、その奥に高木が数本見えるよう配置するのが効果的だと思います。中央部分はコウライシバやチガヤシートを敷いておくなど、あまり見えませんので、出来るだけノーメンテナンスで良い仕上げにしておく方が良いと思います。外周部の生垣の樹種もシラカシなど一般的に生垣として良く使われる樹種を 3 種類から 5 種類ほど混植すると自然に見えるのでお勧めです。生垣で囲まれた中央部分に数本の落葉樹の高木を植えると景観上もメンテナンス上も良くなると思いますので検討してください。

委員： 道路に面する植栽は、シラカシを計画されていますが、公園や街路樹にも良く使われる汎用性の高い樹木です。道路沿いは景観上重要な部分ですので、

枝振りが綺麗で、葉が比較的少ない樹種を植える方が良いと思います。センダンには、樹形が綺麗で葉が比較的少なく、生長が割と早いので景観を創り易い樹木ですのでお勧めします。

設計者： 道路沿いに中木を植える時に、運転席から死角にならないか心配ですが、センダンは植えても大丈夫ですか。

委員： センダンは幹がある程度太くなりますので、車両の出入口の際に植えるのではなく、植栽帯の中央部に植え、出入口付近は低く抑え、低木やハナミズキを配置するなど、広く視界が開けるように樹木を配置すると、安全性も確保できますし、道路景観も良くなります。スギやイチョウなど下の方から枝が伸び、樹形が三角形になるような樹種は道路沿いにはお勧めしません。センダンは下の方には枝が伸びないのでお勧めします。ケヤキは樹形が綺麗です。南東の角には植え付け時から 3.5m 程度の高木のヤマザクラを植えると宝塚らしい雰囲気になります。景観上目に付く部分ですので、企業イメージも良くなると思いますので是非検討してください。

設計者： 造園業者と相談し、検討します。

会長： 本日は色彩専門の委員が欠席しております、事前に色彩、外観に関する意見をいただいておりますのでお伝えします。色彩計画の参考にしていただきたいと思います。

● 図面集 10-1

- ・ 外壁サイディングの色彩は、N8.5 というのですが、外壁の大半であり、大面積となります。そのため、色彩の面積効果により、指定された色彩よりも白が強い見えがかりになると考えられます。宝塚では、地域の風土になじむ景観色彩を目指していますので、大きな壁面では白の強い外壁は控えていただきたいと思います。指定では、N8.5 というのですが、N7.5～8 が望ましいと考えます。

● 2)図面集 10-2

- ・ L型看板「くすり」の地の赤色は 7.2R3.8/14.2 というのですが、面積も大きく赤色の色彩の塊として大きいため、風土になじむ景観形成を目指す宝塚には馴染みづらいたと考えます。企業 CI に基づいた色彩指定と推測されますが、大きな看板による面積効果で十分にその役割は果たすと考えられますので指定された彩度 14.2 を彩度 10～12 とすることを望み

ます。

設計者： 検討します。

委員： メッシュフェンスは、白よりもダークブラウンの方が落ち着いた控えめな印象になりますので検討してください。

設計者： 検討します。

会長： 本日の意見を参考にいただき、景観に配慮した計画になるよう検討をお願いします。議事2については、これで協議を終了します。